

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第14期（決算日2017年11月20日）

作成対象期間（2016年11月19日～2017年11月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、2017年8月10日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2023年11月20日となりましたので、ご留意下さい。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2003年11月19日から2023年11月20日までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期(2013年11月18日)	20,010	800	47.5	277.03	61.2	96.9	—	2,889
11期(2014年11月18日)	24,550	850	26.9	376.66	36.0	97.5	—	2,925
12期(2015年11月18日)	26,844	1,000	13.4	426.40	13.2	91.1	—	2,792
13期(2016年11月18日)	21,329	1,000	△16.8	369.06	△13.4	100.5	—	9,401
14期(2017年11月20日)	22,010	1,100	8.4	391.63	6.1	95.7	—	59,514

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
(出所)ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	騰落率		
(期首) 2016年11月18日	円	%		%	%	%
	21,329	—	369.06	—	100.5	—
11月末	20,824	△2.4	358.78	△2.8	93.0	—
12月末	19,849	△6.9	341.03	△7.6	90.0	—
2017年1月末	20,324	△4.7	344.36	△6.7	94.8	—
2月末	22,461	5.3	379.32	2.8	96.3	—
3月末	22,157	3.9	372.84	1.0	95.5	—
4月末	22,510	5.5	376.72	2.1	95.4	—
5月末	21,496	0.8	360.37	△2.4	94.9	—
6月末	23,760	11.4	395.66	7.2	95.2	—
7月末	24,471	14.7	407.31	10.4	94.6	—
8月末	24,626	15.5	409.66	11.0	94.6	—
9月末	25,026	17.3	416.97	13.0	94.3	—
10月末	23,698	11.1	398.83	8.1	95.3	—
(期末) 2017年11月20日	23,110	8.4	391.63	6.1	95.7	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	みり騰落	期中騰落	期中騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期(2013年11月18日)	20,952	800	76.5	310.85	99.0	95.8	—	6,219
11期(2014年11月18日)	29,498	1,030	45.7	492.84	58.5	96.0	—	7,444
12期(2015年11月18日)	33,447	1,500	18.5	593.89	20.5	92.7	—	11,791
13期(2016年11月18日)	23,881	1,000	△25.6	464.65	△21.8	100.8	—	12,791
14期(2017年11月20日)	25,377	1,300	11.7	511.23	10.0	95.7	—	54,555

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2016年11月18日	円	%		%	%	%
	23,881	—	464.65	—	100.8	—
11月末	23,739	△0.6	461.08	△0.8	93.0	—
12月末	23,359	△2.2	455.07	△2.1	90.1	—
2017年1月末	23,481	△1.7	450.48	△3.0	94.8	—
2月末	25,709	7.7	491.15	5.7	96.3	—
3月末	25,301	5.9	481.73	3.7	95.5	—
4月末	25,521	6.9	483.28	4.0	95.4	—
5月末	24,327	1.9	461.47	△0.7	94.9	—
6月末	27,172	13.8	512.10	10.2	95.2	—
7月末	27,670	15.9	520.20	12.0	94.6	—
8月末	27,882	16.8	524.25	12.8	94.7	—
9月末	28,911	21.1	545.50	17.4	94.3	—
10月末	27,529	15.3	524.69	12.9	95.3	—
(期末) 2017年11月20日	26,677	11.7	511.23	10.0	95.7	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：21,329円

期末：22,010円 (既払分配金(税込み)：1,100円)

騰落率： 8.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2016年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,329円から期末22,010円となりました。

(上昇) 米国のトランプ大統領が大手製薬会社の首脳と会談し、新薬承認にかかる時間の短縮化の確約や米国FDA(食品医薬品局)の新トップを早期に任命する考えを示したこと、大手バイオテクノロジー企業の2016年10-12月期決算がおおむね市場予想を上回る内容であったこと

<Aコース>

- (下落) 米国の医療保険制度改革法（オバマケア）の代替法案の議会通過が厳しいとの見方が強まったこと、トランプ大統領の選挙公約である税制改革を巡る不透明感が払拭されなかったこと
- (上昇) 開発中の新薬について良好な治験結果を発表する企業が相次いだこと、2017年4－6月期企業決算への期待が強まったこと、ギリアド・サイエンシズ（米国）がキメラ抗原受容体発現T細胞療法の開発を行っている米バイオ企業の買収で合意したこと
- (下落) 米国の大手バイオ企業であるセルジーン社が、クローン病治療薬候補の開発中止を発表し、また、7－9月期決算発表が市場予想を下回ったこと

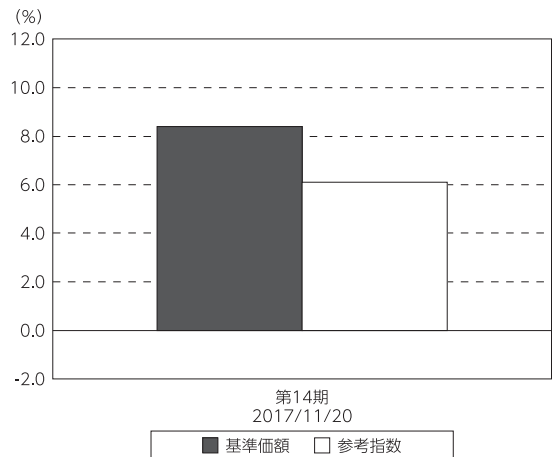
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）の6.1%の上昇に対し、基準価額は8.4%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、米国FDA（食品医薬品局）により抗血栓薬の承認申請が認められた米特殊医薬品メーカーや、米大手バイオテクノロジー企業による買収に合意した米バイオテクノロジー企業をオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,100円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第14期
	2016年11月19日～ 2017年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,100 4.760%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,100
翌期繰越分配対象額	13,018

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：23,881円

期 末：25,377円 (既払分配金(税込み)：1,300円)

騰落率： 11.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2016年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首23,881円から期末25,377円となりました。

(上昇) 米国のトランプ大統領が大手製薬会社の首脳と会談し、新薬承認にかかる時間の短縮化の確約や米国FDA(食品医薬品局)の新トップを早期に任命する考えを示したこと、大手バイオテクノロジー企業の2016年10-12月期決算がおおむね市場予想を上回る内容であったこと

<Bコース>

- (下落) 米国の医療保険制度改革法（オバマケア）の代替法案の議会通過が厳しいとの見方が強まったこと、トランプ大統領の選挙公約である税制改革を巡る不透明感が払拭されなかったこと
- (上昇) 開発中の新薬について良好な治験結果を発表する企業が相次いだこと、2017年4－6月期企業決算への期待が強まったこと、ギリアド・サイエンシズ（米国）がキメラ抗原受容体発現T細胞療法の開発を行っている米バイオ企業の買収で合意したこと
- (下落) 米国の大手バイオ企業であるセルジーン社が、クローン病治療薬候補の開発中止を発表し、また、7－9月期決算発表が市場予想を下回ったこと

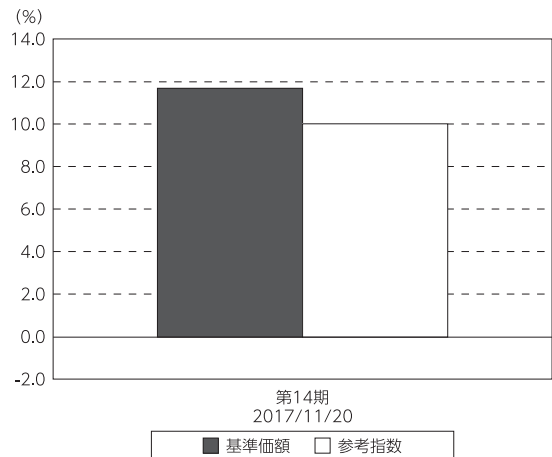
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の10.0%の上昇に対し、基準価額は11.7%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、米国FDA（食品医薬品局）により抗血栓薬の承認申請が認められた米特殊医薬品メーカーや、米大手バイオテクノロジー企業による買収に合意した米バイオテクノロジー企業をオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,300円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第14期
	2016年11月19日～ 2017年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,300 4.873%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,300
翌期繰越分配対象額	15,376

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や米国トランプ新大統領による政策の行方、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票、欧州の大統領選挙や議会選挙、中国の景気動向などに左右される展開のなか、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、円は主要通貨に対して概ね円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] および [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

バイオ医薬品は、医薬品価格引下げ圧力の高まりなどのマイナス材料もあるものの、ここ最近の大型医薬品の承認や、有望な新薬のパイプラインの動向から、引き続き成長が期待できると考えており、今後数年にわたってヘルスケアセクターを上回る売上成長が期待できると見ています。こうした成長性に加えて、一般的に期待感が低くなっている中で良好な治験結果が示されれば、中長期的にはゲノム関連企業の業績は引き続き期待できると考えます。一方、治験結果に対する過度な期待から、中・小型株式会社中心にバリュエーション（投資価値評価）が割高な水準になりつつあり、今後、債券利回りの上昇や流動性環境の悪化といった事態が相場急変のきっかけとなるリスクには警戒が必要と考えます。バイオ医薬品セクターへの投資については、これまで以上に銘柄選択の重要性が増してきていると見ています。

・運用方針

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、足元の株価調整を受け、既に製品のある中型株など特定の銘柄については、再投資や買い増しなどの投資機会を探っていく方針です。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年11月19日～2017年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 466	% 2.063	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(245)	(1.086)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(196)	(0.869)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(25)	(0.109)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.047	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(11)	(0.047)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.025	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	483	2.136	
期中の平均基準価額は、22,600円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2016年11月19日～2017年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 13,082,357	千円 61,263,880	千口 2,640,250	千円 11,806,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2016年11月19日～2017年11月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	118,229,861千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	46,454,467千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.54	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月19日～2017年11月20日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 95,958	百万円 —	—	百万円 144,124	百万円 1,993	1.4

<Aコース>

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 93,512	百万円 4,026	% 4.3	百万円 4,761	百万円 —	% —

平均保有割合 50.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	口 数			口 数 評 価 額		
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 2,325,462			千口 12,767,569 千円 59,253,014		

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 59,253,014	% 93.6
コール・ローン等、その他	4,052,220	6.4
投資信託財産総額	63,305,234	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（109,817,511千円）の投資信託財産総額（114,858,029千円）に対する比率は95.6%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.19円、1スウェーデンクローナ=13.30円、1ノルウェークローネ=13.59円、1デンマーククローネ=17.71円、1ユーロ=131.76円、1豪ドル=84.79円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	121,071,999,796
コール・ローン等	3,786,433,089
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	59,253,014,833
未収入金	58,032,551,874
(B) 負債	61,557,207,964
未払金	58,177,916,614
未払収益分配金	2,974,391,396
未払解約金	55,628,234
未払信託報酬	348,716,753
未払利息	4,425
その他未払費用	550,542
(C) 純資産総額(A-B)	59,514,791,832
元本	27,039,921,788
次期繰越損益金	32,474,870,044
(D) 受益権総口数	27,039,921,788口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,010円

(注) 期首元本額は4,407,955,145円、期中追加設定元本額は25,644,217,578円、期中一部解約元本額は3,012,250,935円、1口当たり純資産額は2,2010円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額410,530,444円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2016年11月19日～2017年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 290,829
支払利息	△ 290,829
(B) 有価証券売買損益	△ 856,186,192
売買益	2,069,060,558
売買損	△ 2,925,246,750
(C) 信託報酬等	△ 516,572,506
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,373,049,527
(E) 前期繰越損益金	△ 102,512,565
(F) 追加信託差損益金	36,924,823,532
(配当等相当額)	(37,981,899,591)
(売買損益相当額)	(△ 1,057,076,059)
(G) 計(D+E+F)	35,449,261,440
(H) 収益分配金	△ 2,974,391,396
次期繰越損益金(G+H)	32,474,870,044
追加信託差損益金	33,950,432,136
(配当等相当額)	(35,020,214,376)
(売買損益相当額)	(△ 1,069,782,240)
分配準備積立金	181,726,701
繰越損益金	△ 1,657,288,793

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年11月19日～2017年11月20日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年11月19日～ 2017年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	37,994,605,772円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	181,726,701円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	38,176,332,473円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	14,118円
g. 分配金	2,974,391,396円
h. 分配金(1万口当たり)	1,100円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,100円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

③信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2023年11月20日とする所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年8月10日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年11月19日～2017年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 534	% 2.063	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(281)	(1.086)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(225)	(0.869)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(28)	(0.109)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.047	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(12)	(0.047)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.025	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	552	2.136	
期中の平均基準価額は、25,883円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2016年11月19日～2017年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 10,609,758	千円 50,242,000	千口 2,080,253	千円 9,438,400

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2016年11月19日～2017年11月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	118,229,861千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	46,454,467千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.54	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月19日～2017年11月20日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
為替直物取引	百万円 4,026	百万円 93,512	% 4.3	百万円 -	百万円 4,761	% -

平均保有割合 49.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	3,172,809	11,702,314	54,309,269

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	54,309,269	94.1
コール・ローン等、その他	3,431,865	5.9
投資信託財産総額	57,741,134	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（109,817,511千円）の投資信託財産総額（114,858,029千円）に対する比率は95.6%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.19円、1スウェーデンクローナ=13.30円、1ノルウェークローネ=13.59円、1デンマーククローネ=17.71円、1ユーロ=131.76円、1豪ドル=84.79円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	57,741,134,623
コール・ローン等	3,431,865,219
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	54,309,269,404
(B) 負債	3,185,708,664
未払収益分配金	2,794,774,925
未払解約金	56,862,056
未払信託報酬	333,541,088
未払利息	4,011
その他未払費用	526,584
(C) 純資産総額(A-B)	54,555,425,959
元本	21,498,268,657
次期繰越損益金	33,057,157,302
(D) 受益権総口数	21,498,268,657口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,377円

(注) 期首元本額は5,356,238,823円、期中追加設定元本額は19,428,956,943円、期中一部解約元本額は3,286,927,109円、1口当たり純資産額は2,5377円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額410,530,444円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2016年11月19日～2017年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 145,861
支払利息	△ 145,861
(B) 有価証券売買損益	24,405,057
売買益	588,538,945
売買損	△ 564,133,888
(C) 信託報酬等	△ 514,330,666
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 490,071,470
(E) 前期繰越損益金	△ 913,575,474
(F) 追加信託差損益金	37,255,579,171
(配当等相当額)	(28,694,999,809)
(売買損益相当額)	(8,560,579,362)
(G) 計(D+E+F)	35,851,932,227
(H) 収益分配金	△ 2,794,774,925
次期繰越損益金(G+H)	33,057,157,302
追加信託差損益金	34,460,804,246
(配当等相当額)	(25,910,648,246)
(売買損益相当額)	(8,550,156,000)
分配準備積立金	140,769,325
繰越損益金	△ 1,544,416,269

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年11月19日～2017年11月20日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年11月19日～ 2017年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	35,711,162,902円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	140,769,325円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	35,851,932,227円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	16,676円
g. 分配金	2,794,774,925円
h. 分配金(1万口当たり)	1,300円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,300円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

③信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2023年11月20日とする所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年8月10日>

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日2017年11月20日）

作成対象期間（2016年11月19日～2017年11月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2013年11月18日)	29,877	80.8	310.85	99.0	96.8	—	9,050
11期(2014年11月18日)	44,430	48.7	492.84	58.5	95.7	—	10,448
12期(2015年11月18日)	53,654	20.8	593.89	20.5	91.9	—	14,665
13期(2016年11月18日)	40,660	△24.2	464.65	△21.8	100.0	—	22,356
14期(2017年11月20日)	46,409	14.1	511.23	10.0	96.2	—	113,562

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
(出所)ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

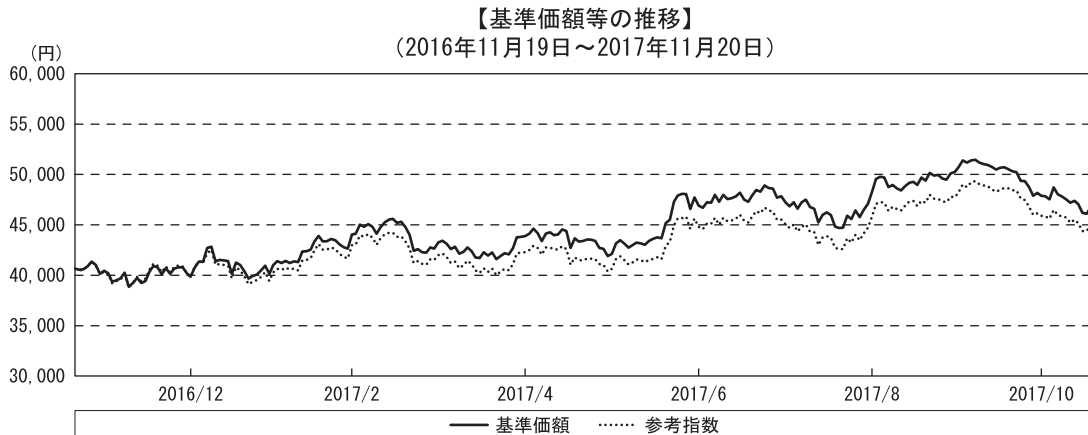
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2016年11月18日	40,660	—	464.65	—	100.0	—
11月末	40,442	△0.5	461.08	△0.8	93.4	—
12月末	39,862	△2.0	455.07	△2.1	90.6	—
2017年1月末	40,138	△1.3	450.48	△3.0	95.3	—
2月末	44,041	8.3	491.15	5.7	96.8	—
3月末	43,416	6.8	481.73	3.7	96.0	—
4月末	43,880	7.9	483.28	4.0	95.8	—
5月末	41,894	3.0	461.47	△0.7	95.3	—
6月末	46,897	15.3	512.10	10.2	95.7	—
7月末	47,837	17.7	520.20	12.0	95.0	—
8月末	48,315	18.8	524.25	12.8	95.1	—
9月末	50,247	23.6	545.50	17.4	94.5	—
10月末	47,882	17.8	524.69	12.9	95.7	—
(期末)						
2017年11月20日	46,409	14.1	511.23	10.0	96.2	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首40,660円から期末46,409円となりました。

- (上昇) 米国のトランプ大統領が大手製薬会社の首脳と会談し、新薬承認にかかる時間の短縮化の確約や米国FDA（食品医薬品局）の新トップを早期に任命する考えを示したこと、大手バイオテクノロジー企業の2016年10－12月期決算がおおむね市場予想を上回る内容であったこと
- (下落) 米国の医療保険制度改革法（オバマケア）の代替法案の議会通過が厳しいとの見方が強まったこと、トランプ大統領の選挙公約である税制改革を巡る不透明感が払拭されなかったこと
- (上昇) 開発中の新薬について良好な治験結果を発表する企業が相次いだこと、2017年4－6月期企業決算への期待が強まったこと、ギリアド・サイエンシズ（米国）がキメラ抗原受容体発現T細胞療法の開発を行っている米バイオ企業の買収で合意したこと
- (下落) 米国の大手バイオ企業であるセルジーン社が、クローン病治療薬候補の開発中止を発表し、また、7－9月期決算発表が市場予想を下回ったこと

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や米国トランプ新大統領による政策の行方、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票、欧州の大統領選挙や議会選挙、中国の景気動向などに左右される展開のなか、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、円は主要通貨に対して概ね円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

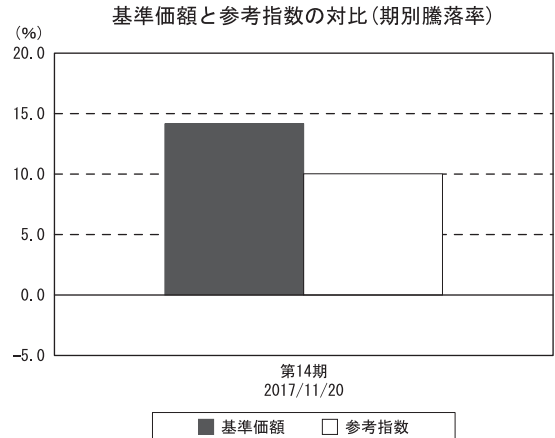
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の10.0%の上昇に対し、基準価額は14.1%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、米国FDA（食品医薬品局）により抗血栓薬の承認申請が認められた米特殊医薬品メーカーや、米大手バイオテクノロジー企業による買収に合意した米バイオテクノロジー企業をオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

○投資環境

バイオ医薬品は、医薬品価格引下げ圧力の高まりなどのマイナス材料もあるものの、ここ最近の大型医薬品の承認や、有望な新薬のパイプラインの動向から、引き続き成長が期待できると考えており、今後数年にわたってヘルスケアセクターを上回る売上成長が期待できると見ています。こうした成長性に加えて、一般的に期待感が低くなっている中で良好な治験結果が示されれば、中長期的にはゲノム関連企業の業績は引き続き期待できると考えます。一方、治験結果に対する過度な期待から、中・小型株式中心にバリュエーション（投資価値評価）が割高な水準になりつつあり、今後、債券利回りの上昇や流動性環境の悪化といった事態が相場急変のきっかけとなるリスクには警戒が必要と考えます。バイオ医薬品セクターへの投資については、これまで以上に銘柄選択の重要性が増してきていると見ています。

○運用方針

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、足元の株価調整を受け、既に製品のある中型株など特定の銘柄については、再投資や買い増しなどの投資機会を探っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年11月19日～2017年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 21 (21)	% 0.047 (0.047)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	10 (9) (0)	0.022 (0.021) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	31	0.070	
期中の平均基準価額は、44,570円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年11月19日～2017年11月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		165,185 (382)	887,977 (ー)	27,629	139,740
国	デンマーク	546	千デンマーククローネ 75,705	—	千デンマーククローネ —
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ	744	1,194	417	860
	ベルギー	982	7,711	90	670

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2016年11月19日～2017年11月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	118,229,861千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	46,454,467千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.54

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月19日～2017年11月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		B A	%		D C	%
為替直物取引	百万円 93,512	百万円 4,026	% 4.3	百万円 4,761	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBVIE INC	214	-	-	-	バイオテクノロジー
ABLYNX NV SPONSORED ADR	-	2,450	5,180	581,179	バイオテクノロジー
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	960	4,564	12,717	1,426,776	バイオテクノロジー
ACCELERON PHARMA INC	675	1,815	7,027	788,409	バイオテクノロジー
ACORDA THERAPEUTICS INC	800	-	-	-	バイオテクノロジー
AERIE PHARMACEUTICALS INC	-	983	5,775	647,919	医薬品
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	-	951	5,675	636,730	バイオテクノロジー
ALDER BIOPHARMACEUTICALS INC	568	6,636	7,035	789,264	バイオテクノロジー
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	735	3,618	40,116	4,500,624	バイオテクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	563	1,042	13,290	1,491,032	バイオテクノロジー
AMGEN INC	904	3,433	58,372	6,548,779	バイオテクノロジー
ARENA PHARMACEUTICALS INC	-	2,491	6,610	741,632	バイオテクノロジー
ARGENX SE-ADR	-	2,245	5,431	609,341	バイオテクノロジー
ARIAD PHARMACEUTICALS INC	1,503	-	-	-	バイオテクノロジー
AVEXIS INC	-	756	7,354	825,108	バイオテクノロジー

銘柄	株数	当期			業種等
		株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	995	3,798	31,480	3,531,813	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	495	1,962	61,621	6,913,260	バイオテクノロジー
BIO TECHNE CORP	228	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
BLUEBIRD BIO INC	228	534	8,724	978,802	バイオテクノロジー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	554	1,968	13,028	1,461,694	バイオテクノロジー
BRISTOL MYERS SQUIBB	320	—	—	—	医薬品
CELGENE CORP	1,650	6,983	72,699	8,156,166	バイオテクノロジー
CERUS CORPORATION	2,976	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
CLOVIS ONCOLOGY INC	385	1,741	11,008	1,235,046	バイオテクノロジー
COHERUS BIOSCIENCES INC	394	—	—	—	バイオテクノロジー
CYTOX THERAPEUTICS INC	—	789	1,602	179,791	バイオテクノロジー
DYNAVAX TECHNOLOGIES CORP	845	—	—	—	バイオテクノロジー
ESPERION THERAPEUTICS INC	—	1,441	7,092	795,692	バイオテクノロジー
EXELIXIS INC	1,774	7,554	19,927	2,235,705	バイオテクノロジー
FIVE PRIME THERAPEUTICS INC	184	1,454	3,716	417,005	バイオテクノロジー
FLEXION THERAPEUTICS INC	—	3,155	7,438	834,475	バイオテクノロジー
GW PHARMACEUTICALS -ADR	50	1,226	14,209	1,594,117	医薬品
GILEAD SCIENCES INC	1,644	8,785	63,640	7,139,843	バイオテクノロジー
GRIFOLS SA-ADR	2,115	—	—	—	バイオテクノロジー
HALOZYME THERAPEUTICS INC	—	9,159	16,743	1,878,503	バイオテクノロジー
ILLUMINA INC	185	1,040	21,755	2,440,741	ライフサイエンス・ツール/サービス
IMMUNOMEDICS INC	—	6,188	7,271	815,809	バイオテクノロジー
INC RESEARCH HOLDINGS INC-A	676	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
INCYTE CORP	769	3,477	36,682	4,115,394	バイオテクノロジー
INTERCEPT PHARMACEUTICALS INC	170	—	—	—	バイオテクノロジー
INTRA-CELLULAR THERAPIES INC	227	—	—	—	医薬品
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	1,265	11,281	17,497	1,963,028	バイオテクノロジー
JUNO THERAPEUTICS INC	491	1,724	10,110	1,134,287	バイオテクノロジー
KITE PHARMA INC	378	—	—	—	バイオテクノロジー
LA JOLLA PHARMACEUTICAL CO	—	1,926	6,511	730,567	バイオテクノロジー
LOXO ONCOLOGY INC	—	877	6,584	738,711	バイオテクノロジー
MEDICINES COMPANY	—	1,829	5,749	645,035	医薬品
MYOKARDIA INC	—	1,318	4,906	550,442	医薬品
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	798	3,410	24,650	2,765,508	バイオテクノロジー
OPHTHOTECH CORP	165	—	—	—	バイオテクノロジー
PRA HEALTH SCIENCES INC	523	2,133	17,216	1,931,568	ライフサイエンス・ツール/サービス
PARATEK PHARMACEUTICALS INC	—	3,082	6,287	705,420	医薬品
PORTOLA PHARMACEUTICALS INC	885	2,106	10,380	1,164,631	バイオテクノロジー
RADIUS HEALTH INC	418	2,307	6,535	733,223	バイオテクノロジー
REGENERON PHARMACEUTICALS	301	1,170	45,829	5,141,638	バイオテクノロジー
SAGE THERAPEUTICS INC	348	1,568	13,441	1,507,970	バイオテクノロジー
SEATTLE GENETICS INC	—	4,070	24,337	2,730,446	バイオテクノロジー
SHIRE PLC-ADR	336	832	12,274	1,377,020	バイオテクノロジー
SPARK THERAPEUTICS INC	197	626	4,632	519,739	バイオテクノロジー
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	—	2,206	8,384	940,658	医薬品
SYNERGY PHARMACEUTICALS INC	—	12,172	2,373	266,309	バイオテクノロジー
TESARO INC	291	2,104	18,074	2,027,823	バイオテクノロジー
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	428	914	17,381	1,950,056	ライフサイエンス・ツール/サービス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL INC	436	2,911	14,004	1,571,211	バイオテクノロジー
VERTEX PHARMACEUTICALS	1,051	3,055	45,035	5,052,485	バイオテクノロジー
ALKERMES PLC	246	3,690	17,860	2,003,793	バイオテクノロジー
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	380	1,610	21,558	2,418,609	医薬品

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円
PROTHENA CORP PLC		508	1,580	8,205	920,628
AC IMMUNE SA		—	4,517	4,793	537,771
OBSEVA SA		—	3,909	4,417	495,615
小 計	株 数 ・ 金 額	33,254	171,191	952,267	106,834,866
	銘柄 数 < 比 率 >	49	56	—	< 94.1% >
(デンマーク)				千デンマーククローネ	
GENMAB A/S		—	546	66,897	1,184,750
小 計	株 数 ・ 金 額	—	546	66,897	1,184,750
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 1.0% >
(ユーロ…オランダ)				千ユーロ	
ARGENX SE		—	326	667	88,002
小 計	株 数 ・ 金 額	—	326	667	88,002
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 0.1% >
(ユーロ…ベルギー)					
GALAPAGOS NV		194	1,086	8,405	1,107,493
小 計	株 数 ・ 金 額	194	1,086	8,405	1,107,493
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.0% >
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	194	1,413	9,073	1,195,495
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	< 1.1% >
合 計	株 数 ・ 金 額	33,449	173,151	—	109,215,112
	銘柄 数 < 比 率 >	50	59	—	< 96.2% >

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 109,215,112	% 95.1
コール・ローン等、その他	5,642,917	4.9
投資信託財産総額	114,858,029	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (109,817,511千円) の投資信託財産総額 (114,858,029千円) に対する比率は95.6%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.19円、1スウェーデンクローナ=13.30円、1ノルウェークローネ=13.59円、1デンマーククローネ=17.71円、1ユーロ=131.76円、1豪ドル=84.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	117,109,637,297
コール・ローン等	5,254,404,021
株式(評価額)	109,215,112,142
未収入金	2,600,540,916
未収配当金	39,580,218
(B) 負債	3,546,671,363
未払金	3,546,666,990
未払利息	4,373
(C) 純資産総額(A-B)	113,562,965,934
元本	24,469,883,910
次期繰越損益金	89,093,082,024
(D) 受益権総口数	24,469,883,910口
1万口当たり基準価額(C/D)	46,409円

(注) 期首元本額は5,498,271,661円、期中追加設定元本額は23,692,116,202円、期中一部解約元本額は4,720,503,953円、1口当たり純資産額は4,6409円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 12,767,569,832円
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 11,702,314,078円

○損益の状況 (2016年11月19日～2017年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	169,532,073
受取配当金	168,629,127
受取利息	520,141
その他収益金	1,548,357
支払利息	△ 1,165,552
(B) 有価証券売買損益	786,260,372
売買益	9,443,194,262
売買損	△ 8,656,933,890
(C) 保管費用等	△ 10,340,484
(D) 当期損益金(A+B+C)	945,451,961
(E) 前期繰越損益金	16,857,762,312
(F) 追加信託差損益金	87,813,763,798
(G) 解約差損益金	△16,523,896,047
(H) 計(D+E+F+G)	89,093,082,024
次期繰越損益金(H)	89,093,082,024

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞